

## 成田市インターネット市政モニター アンケート集計結果

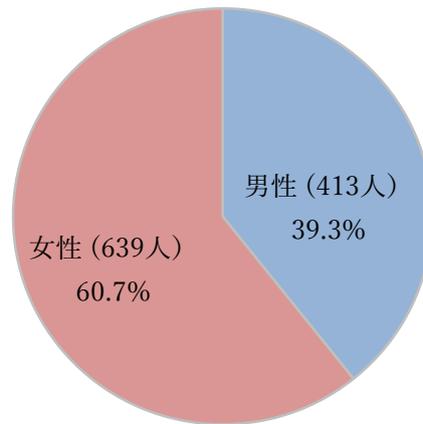
第 106 回のテーマは「成田市制施行70周年記念事業に関するアンケート調査」でした。

配信者数:1,528 人

実施期間:令和 7 年 7 月 18 日(金)~7 月 28 日(月)

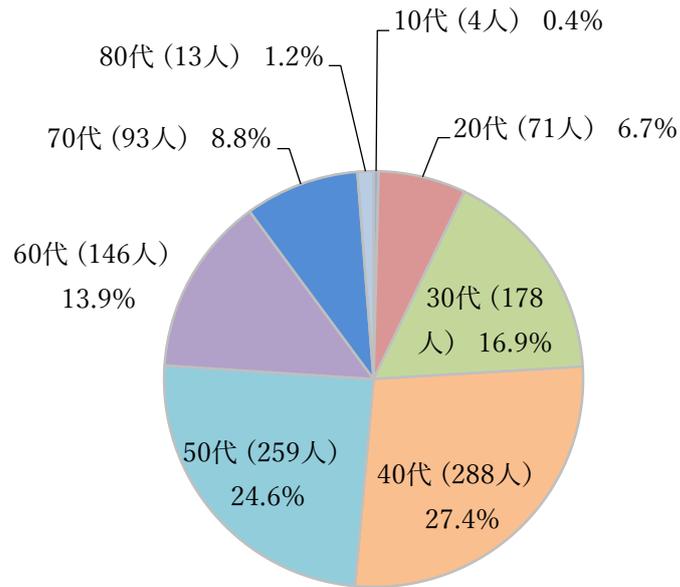
回答者数(回答率):1,052 人(69%)

[F6] 性別  
(回答者数=1052)



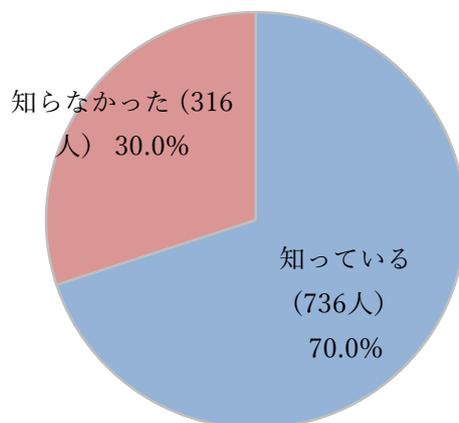
単一回答		人	%
	全体	(1052)	
1	男性	413	39.3
2	女性	639	60.7

[F8] 年代  
(回答者数=1052)



単一回答		人	%
	全体	(1052)	
2	10代	4	0.4
3	20代	71	6.7
4	30代	178	16.9
5	40代	288	27.4
6	50代	259	24.6
7	60代	146	13.9
8	70代	93	8.8
9	80代	13	1.2

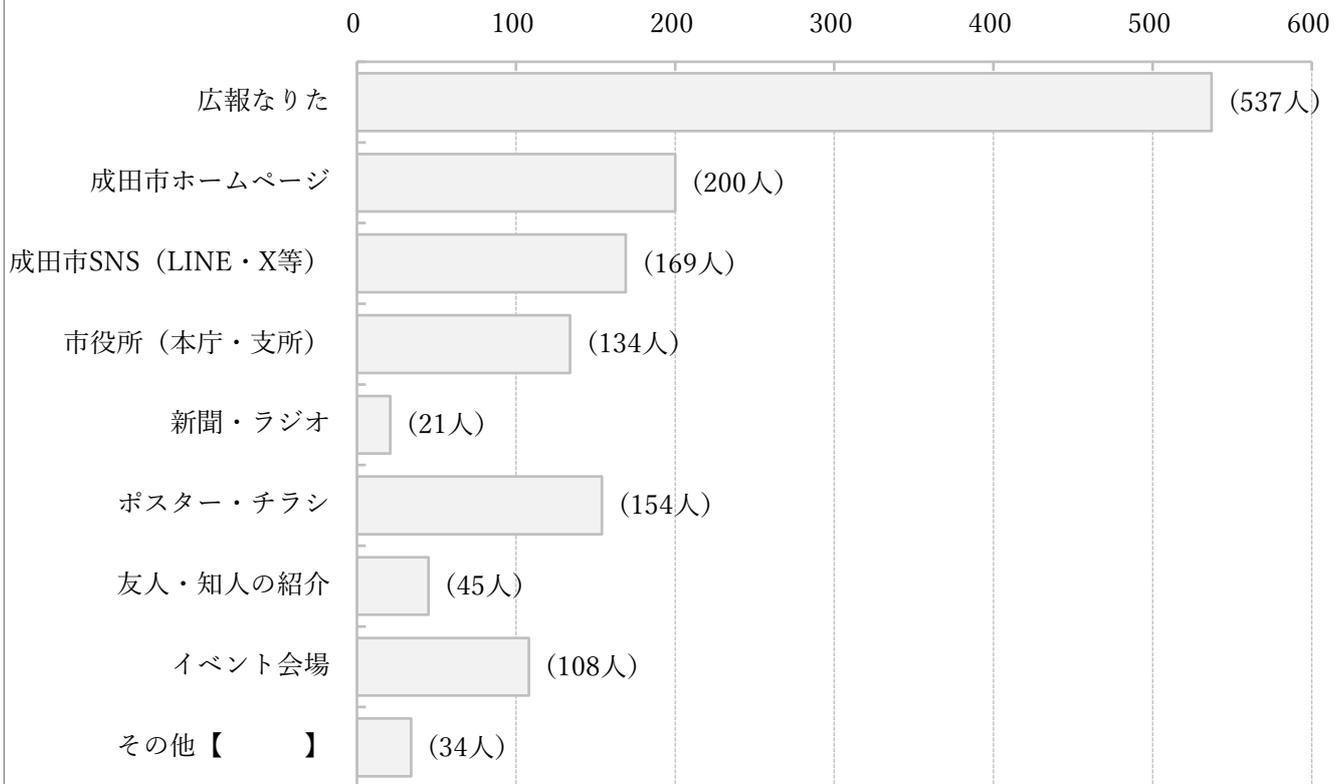
[Q1] 本市が令和6年に市政施行70周年を迎えたことを知っていますか。  
(回答者数=1052)



単一回答		人	%
	全体	(1052)	
1	知っている	736	70.0
2	知らなかった	316	30.0

**[Q2] どこでお知りになりましたか。**

(回答者数=736)



複数回答	人	%
全体	(736)	
1 広報なりた	537	73.0
2 成田市ホームページ	200	27.2
3 成田市SNS (LINE・X等)	169	23.0
4 市役所 (本庁・支所)	134	18.2
5 新聞・ラジオ	21	2.9
6 ポスター・チラシ	154	20.9
7 友人・知人の紹介	45	6.1
8 イベント会場	108	14.7
9 その他【 】	34	4.6

**その他【 】**

※ 分量の関係から重複意見を省略して掲載しております。

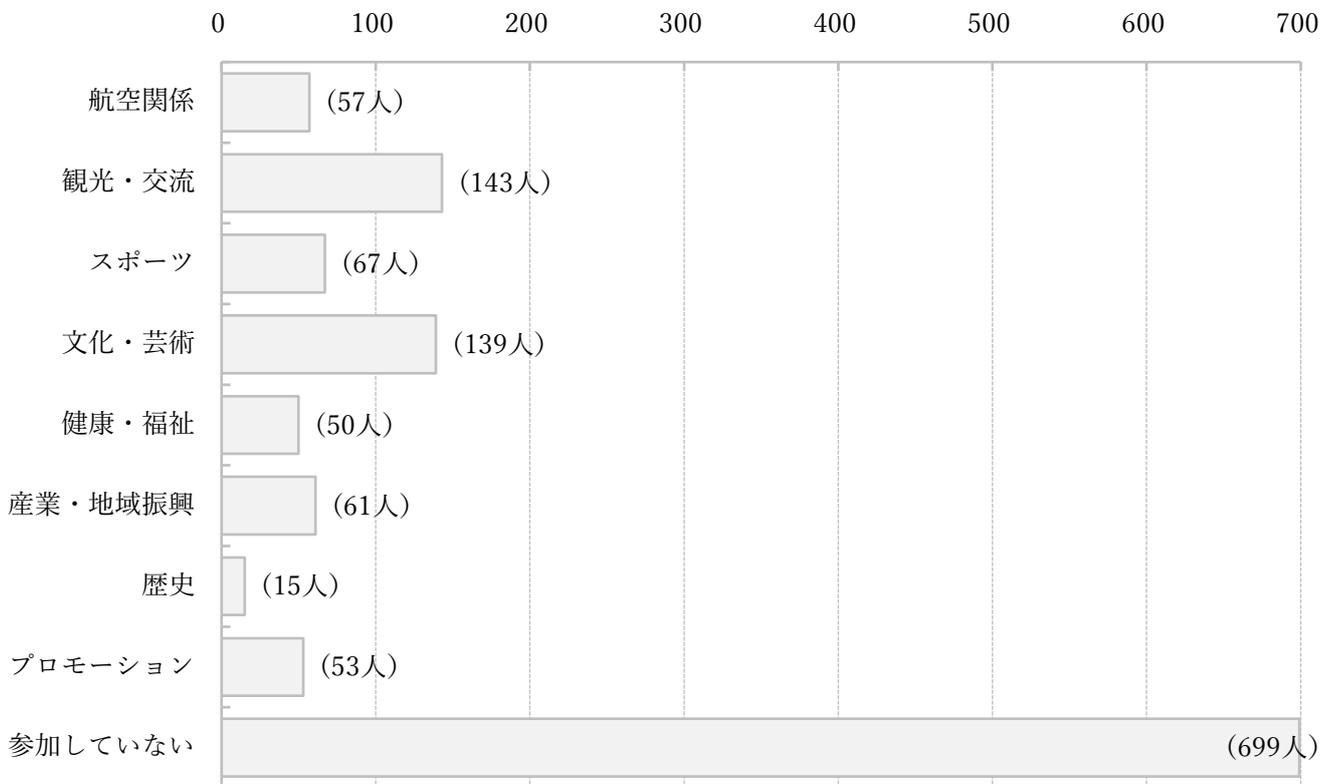
- 図書館
- うなりくんのX
- 駅前でのライトアップで
- 自身、市制施行の昭和29年生まれだから。
- 学校から配布されるプリントなど
- 回覧板

- 公民館
- 原付の登録ナンバー
- 町内会
- 成田イオンでの掲示物でみかけた
- JR 成田駅の垂れ幕
- この質問の前で知りました。
- 山車まつり
- 家族から
- 勤務先から

【分析結果】

市制施行 70 周年を「知っている」と回答した方は全体の 70%で、その情報源は「広報なりた」が 73%と最も多く、次いで「成田市ホームページ」(約 27%)が続きました。一方、「知らなかった」との回答も 30%あり、情報が届いていない層が一定数存在します。今後は、幅広い媒体を活用し、より多くの市民に周知できる体制の整備が求められます。

【Q3】 参加された記念事業がありましたら、あてはまる事業分類を選択してください。  
(回答者数=1052)

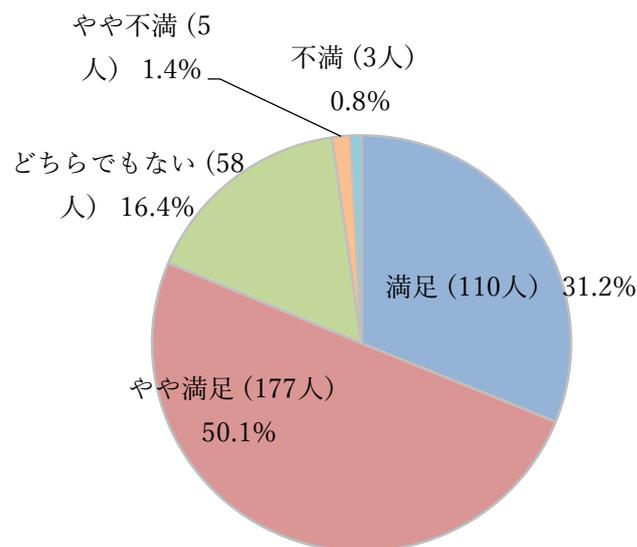


複数回答		人	%
	全体	(1052)	
1	航空関係	57	5.4
2	観光・交流	143	13.6
3	スポーツ	67	6.4
4	文化・芸術	139	13.2
5	健康・福祉	50	4.8
6	産業・地域振興	61	5.8
7	歴史	15	1.4
8	プロモーション	53	5.0
9	参加していない	699	66.4

### 【分析結果】

記念事業への参加率は全体の約 34%で、特に「観光・交流」や「文化・芸術」など、年間を通じて多くのイベントが開催される分野への回答が多く見られました。これに対し、実施回数が少なく、対象者が限られる分野の回答率は低く、また、「参加していない」との回答は全体の約 66%を占めています。この割合は、市制施行 70 周年を「知らなかった」と回答した割合(30%)を大きく上回っており、開催方法や周知方法に改善の余地があると考えられます。

[Q4] 記念事業に参加された方は、イベントの満足度を選択してください。  
(回答者数=353)

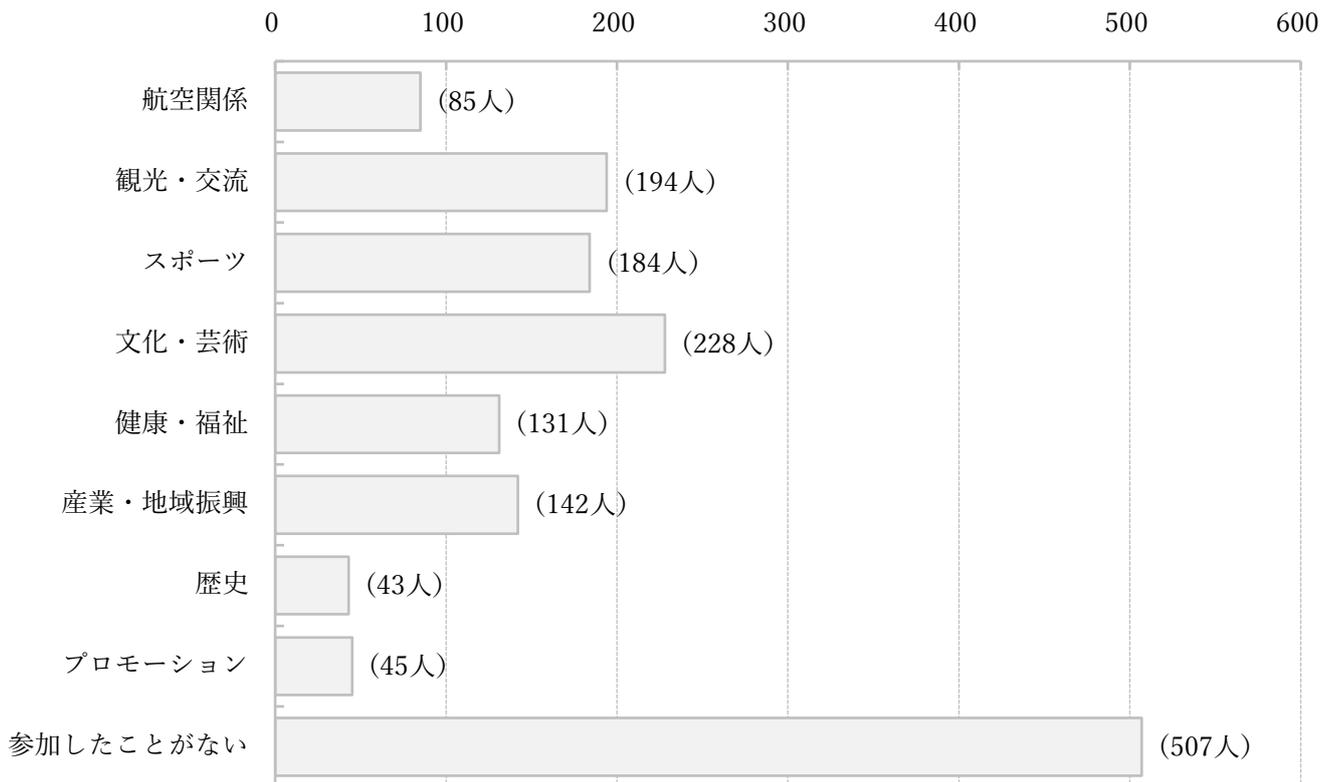


単一回答		人	%
	全体	(353)	
1	満足	110	31.2
2	やや満足	177	50.1
3	どちらでもない	58	16.4
4	やや不満	5	1.4
5	不満	3	0.8

【分析結果】

記念事業の参加者のうち、約 81%が「満足」または「やや満足」と回答しており、事業内容に対する評価は概ね高いといえます。一方で、参加者数は全体の約 3 分の 1 にとどまっており、今後は認知度の向上と参加促進が重要な課題となります。

[Q5] 記念事業以外で、過去に本市の実施したイベントに参加されたことがありましたら、あてはまる事業分類を選択してください。  
(回答者数=1052)



複数回答		人	%
	全体	(1052)	
1	航空関係	85	8.1
2	観光・交流	194	18.4
3	スポーツ	184	17.5
4	文化・芸術	228	21.7
5	健康・福祉	131	12.5
6	産業・地域振興	142	13.5
7	歴史	43	4.1
8	プロモーション	45	4.3
9	参加したことがない	507	48.2

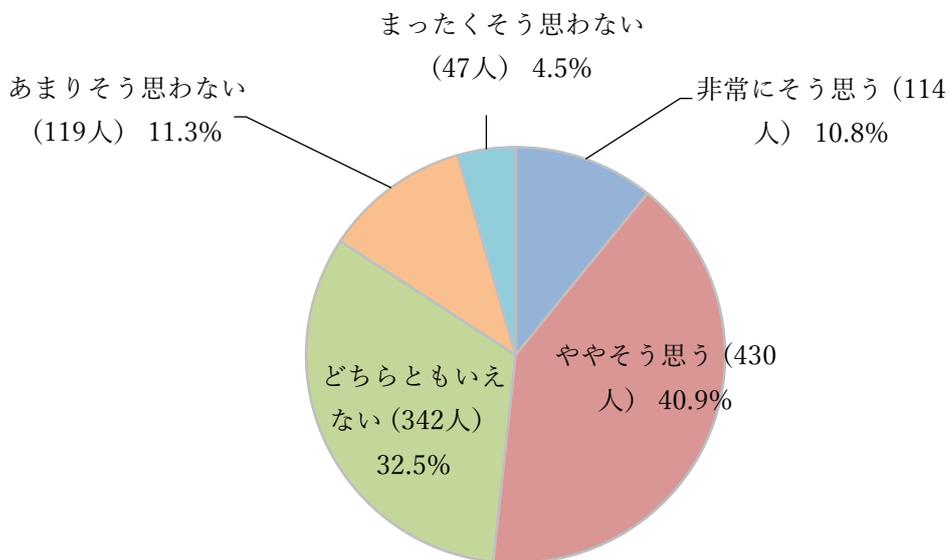
【分析結果】

記念事業には、例年開催しているイベントに「成田市制施行 70 周年」の冠を付して実施したものが多く含まれていますが、[Q3]で「参加したことがない」と回答した割合は、本質問より約 18% 高く、過去に同様のイベントに参加した方のリピート率が低い、または記念事業であることを認識せずに参加した可能性が考えられます。また、[Q3]とのクロス集計では、本質問で「参加したことがない」と回答した方の約 14% が記念事業に参加しており、70 周年を契機に初めてイベントに参加した層の存在も確認されました。これらの結果から、周知方法やイベントの位置づけの明確化が必要といえます。

[Q6] 今回実施した記念事業により、以下の目的を達成できたと思いますか。

- ・ 成田の魅力を再認識し、改めて郷土に対する愛着や誇りを育む。
- ・ 更なる機能強化が進められる成田空港と共に、子どもたちが夢や希望を持って未来へと羽ばたく契機とする。

(回答者数=1052)



単一回答		人	%
	全体	(1052)	
1	非常にそう思う	114	10.8
2	ややそう思う	430	40.9
3	どちらともいえない	342	32.5
4	あまりそう思わない	119	11.3
5	まったくそう思わない	47	4.5

【分析結果】

全体では約 52%、記念事業の参加者に限定すると約 69% が「非常にそう思う」または「ややそう思う」と回答しました。一方で、「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した方の約 78% は、記念事業に参加していない層でした。このことから、事業の開催方法や周知方法の改善が、目的達成に向けた重要な要素であると考えられます。

**Q7 本市では、これまで10年ごとに記念事業を実施しておりますが、今後の実施に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。**

※ 頂戴しましたご意見について、分量の関係から、カテゴリーに分類し、抜粋して掲載しております。

1. 事業内容への評価

- ANA のイベントに当選し、子どもにとって産まれて初めて飛行機に搭乗しました。とても貴重な体験ができ、大変喜んでいました。成田市民として生まれ、育っていくなかで空港に興味を持ってくれると嬉しく思います。今後も子どもが貴重な体験が出来、将来の夢に繋がるイベントを希望します。
- 子どもたちが海外に学習に行くプログラムなど有意義な事業が多かったと認識しています。成田市の街づくり、子育てなどにもっと重点をおいて事業なども次回はお考えください。
- 毎年行っているイベントの名前に、「記念事業」と入っているだけのもの(内容は前年と大して変わらない)も多かったのも、もっと特別な感じが今後はあると良い。未就学児が参加できる記念事業がもっとあるとうれしい。
- イベントだと日程が合わないことが多いので、ある程度期間が長く都合がいいときに参加できて楽しめるものが多いと思います。成田市内お買い物スタンプラリーをスマホでもやってほしいです。抽選系のイベントは結局当たらないので参加する気になりません。参加賞に期待したいです。

2. 広報・周知に関する意見

- 成田市に引っ越したばかりだったこともあるが、自身の場合、能動的に情報を調べなければ記念事業の情報は得られることができなかった。市ホームページや広報誌以外にも周知方法の拡大を検討してみても。
- 今回の記念事業について知らない物もあったので参加出来ず残念だった。次の 10 年後の記念事業は LINE 等 SNS を活用し、分かりやすく参加を呼びかけるようにして頂けたらと思います。
- 成田市公認インフルエンサー？の企画が面白いなどは思いましたが、イマイチ、ぱっとしなかった気もします。インスタリレー投稿するとか、もっとアピールして欲しかったとも思いました。
- 例年実施している事業においても、\*\*周年記念事業と明記して実施してほしい。\*\*周年であることを市民に広く知らしめることは、大変意義深いことであると感じています。

3. 参加機会や対象者に関する意見

- 子ども向けが色々企画されていて良かったと思いますが、我が子たちはすでに年齢的に対象外もあり残念でした。市民みんなが参加できるといいですね。
- いくつか参加したいものがあり抽選に応募しましたが落選でした。また興味のあるイベントがあれば申し込みます。
- 地域、世代に関係なく楽しめるイベントの企画をお願いします。
- 誰もが参加しやすいと良いと思う。予約制とかだと、シフトで働いている人間は参加しづらい。平日にも記念事業があると違うかも。

#### 4. 費用面への意見

- 記念行事に反対はしないがかかる費用などを透明性を持っていただければ実施も賛成です。特定の人だけの利益になるなら記念行事は反対です
- 成田市民に対して税金を少しでも還元してもらえるキャンペーン等実施して頂きたい。
- 中身の充実したものを実施して欲しい。例えば N 響。一流団員の演奏を NHK ホールで聴く為の補助券の発行の方が嬉しかった。帰りが遅くなるので、成田駅までバスをチャーターするとか…團十郎さま以外は『さすが成田』感をもっと欲しいと感じた。お金はかかる。かかっても良いから行事を行なっているのだから。
- 名人戦、山車祭り等いいイベントもあったが正直微妙な施策もあったのでちょっとお金の使い方どうなんだろうなあと思う内容もありました。

#### 5. その他(提案・感想など)

- イベントが総花的で、impact が薄いように思われる。各年齢層、対象者に響くようなコーナーを設けるとよいのでは。空港ともしっかり連携したイベントがあると良い。
- こんなことを言っただけでは申し訳ありません。成田市全域を巻き込んでというほどの盛り上がりは感じられなかった。次回に向けて思い付くことを書きます。普段毎日利用する駅やイオンなどへの掲示物やラック案内などでの猛アピールや、普段は白黒の成田市広報も、表紙だけでもカラーにして特別感をだしてもっと楽しく惹き付けるような工夫、成田市内の各家庭へ記念イベントの内容を案内するシンプルなハガキでの通知を郵送するなど、まだまだやれることはあったと思います。市役所にそのような部門があるのだと思いますが、市内に住む民間企業に勤めるアイデアをだすのがうまい人達が多くいると思います。このようなアンケートでの投書ではなく、QR コードで読み込み、直ぐに送信できるようなシステムにより、画期的な盛り上げを市民で作り上げることができるとおもいます。QR コードは、人が集まるようなところに楽しい呼び掛けと共に設置がよい。一生懸命やられている方がいて、このような意見を申し上げるのは大変恐縮ですが、今後もよろしくお願いいたします。
- 次回は、80周年ですか?市の歴史、行政が行ってきたこと、大きな出来事など(国内外)比較しながら、映像を使って、成田市を紹介し、更に将来に付いての計画等を解説する、大規模な市民講座を何回か開催して欲しい。
- 行事の一部でも定例となり文化となるよう継続が大事だと思っています。

#### 【分析結果・総括】

こども向けイベントの充実や将来の夢につながる体験への期待が高まったといった好意的な評価がある一方で、内容のマンネリ化や地域・世代による参加機会の不公平さ、広報不足などの課題も浮き彫りになりました。また、市民への還元や費用対効果への疑問も呈され、より魅力的で記憶に残る事業にするための工夫が求められています。いただいた意見を参考に、今後とも、市民の声を反映した事業の検討に取り組んでまいります。